

Ⅲ 計画の推進、実施状況のフォローアップ

何より重要なのは、計画策定後、全庁を挙げ、住民とのパートナーシップの下で、計画に沿った取組を実施することです。計画を着実に推進するためには、それを実行しうる強力な庁内の推進体制を整備するほか、有識者、民間団体・関係行政機関の代表、住民から構成される、いわゆる諮問機関からの提言など、庁外からの意見を適時集約していくことが必要です。

また、計画の推進状況については、定期的に調査し、把握するとともに、これらの結果を公表していくことが有効です。例えば、毎年、計画の細目に基づいて講じた施策や、講じようとする施策を取りまとめて公表したり、関係機関に配布することが考えられます。

なお、計画の実行及び実施状況の把握・点検は重要であることから、計画を策定するときから、施策の着手、実施についての期限を段階的に設けたり、具体的な目標の達成度合いを明示するなど、工夫することが望まれます。

〈市町村担当者の声〉

- 計画の推進状況調査は「各課が事業を実施した」ことの調査になりやすいが、計画の基本目標の達成の観点から評価していくことが重要であり、また難しい。
- 予算要求時に各課において、計画関連事業がどのように要求され、決定されたか等を担当課は把握していく必要がある。
- 計画推進においても、各担当が男女共同参画についての共通認識を持つことが必要である。